

第3章 南部丘陵の緑地の現況

1 地形

南部丘陵の標高は概ね50～200mの間であり、比較的なだらかな斜面に位置し、大正池を主な水源池とする石津川と、和田川が主な水系を形成しており、付近の農業用水としても利用されている。

いずれも丘陵地にはさまれた谷筋を流れ、市街地内を通過して大阪湾へと注いでおり、市の骨格となる水系を形成しているほか、ため池や小さい池が多く見られ、丘陵部に点在している。

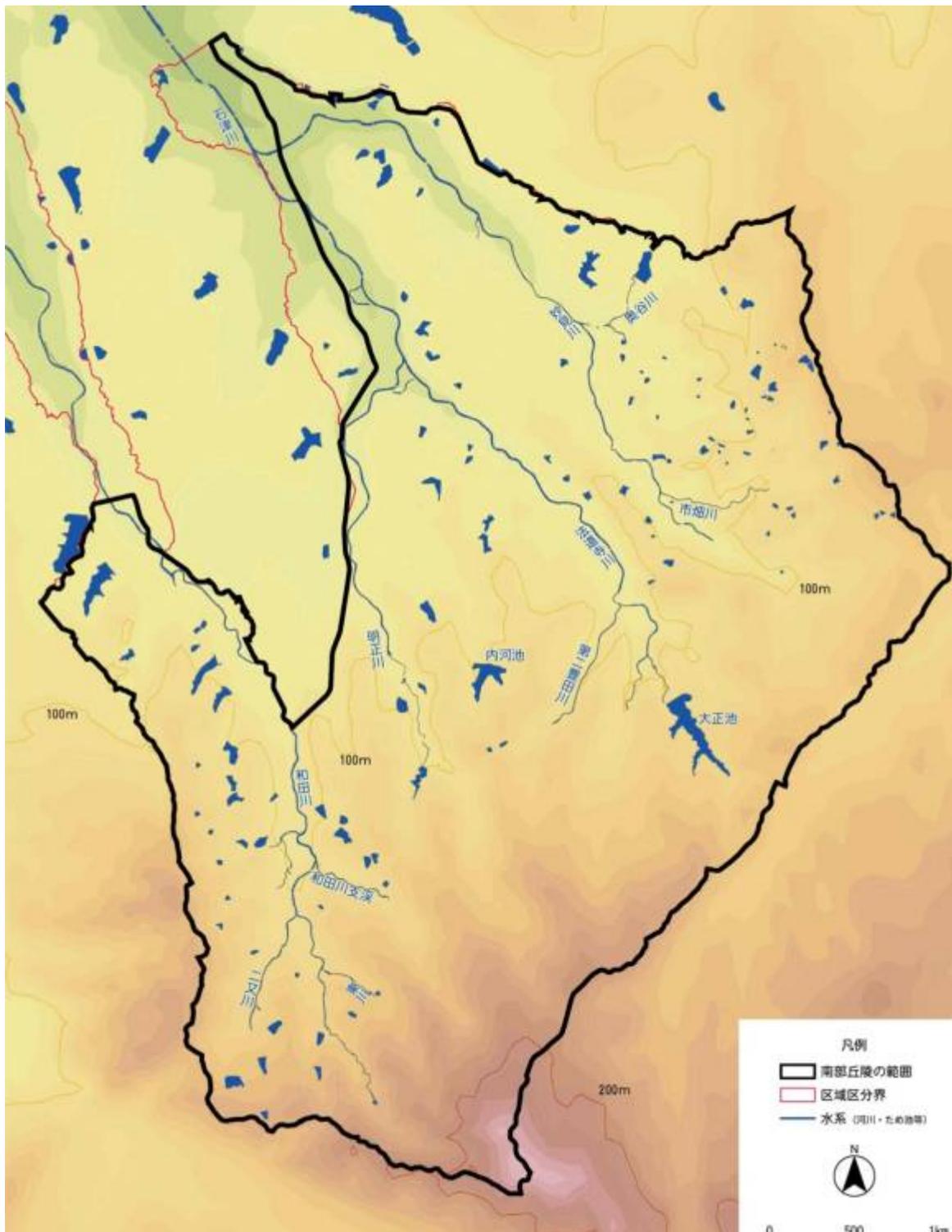


図 3.1.1 南部丘陵の地形図